

つくば市上郷MAP

この町には、まだまだ知らないことがある。

上郷地域は約三千年前の旧石器時代から人々の生活と社会の仕組みが始まり、つくば市の西部で小貝川近く「舌状台地」に形成された大きな歴史のある地域です。上郷には九三二年に建立された春日神社、金村別雷神社があり、かつては養蚕業で栄えた時代もありました。大坂夏の陣の二一五年（元和元年）、台夏田上郷村から上郷村となり、その後の歴史や文化の蓄積があります。また、筑波山地域ジオパーク上郷ジオパークに指定された自然豊かな川口公園が存在するなどが特徴です。



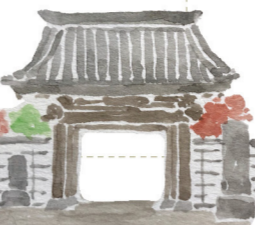
- お食事処
- コンビニ・スーパー
- ガソリンスタンド
- 駐車場
- 撮影スポット
- 学校
- 郵便局
- お寺
- 神社
- 理美容（理髪店）
- 公民館・集落センター

上郷の祇園祭

祭礼は、旧6月15日に権現宿の祇園祭として行われていた。現在は7月4日曜日（中央）、その前日の土曜日（北部）に行われている。



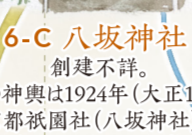
つば市指定無形民俗文化財
田倉三匹獅子 令和3年3月、36年ぶりに復活!
雄・雌・子獅子の三匹がそれぞれ胸に太鼓をつけて約20分踊り続けるという、江戸時代前期から伝わる獅子舞。



5-B 宗徳院
1479年（文明11年）創建（小貝川の川上塔台に宗徳院全身である即徳院、開基は豊田四郎治元の叔父である長峰城主・長峰右近将監正次。1511年（永正8年）即徳院を今の地に移し、上郷宗徳院と称す。

6-C 歓喜院

1558年（弘治4年）～1570年（元亀元年）頃創建。開基は恵呼坊筑波郡の普門寺を遷したのではないかとされている。



6-C 八坂神社
創建不詳。当社の神輿は1924年（大正13年）に京都祇園社（八坂神社）に神霊を移乗して迎えた由緒あるもの。

4-B 春日神社

931年（承平元年）平将門の叔父平良実が奈良の春日神社から勧請したとされている。



5-B 随翁院

1465年（寛正6年）豊田家の家臣、坪井越後守平宗信によって金村台の山下の地に創建。1513年（永正10年）に戦火に焼かれ現在の地に移った。



小貝川神社
1199年～1201年八田知家の三子知経が築いたとされる。小田氏の重要拠点。1588年落城。



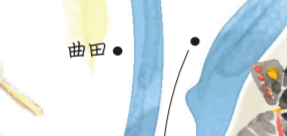
大宿
江戸時代（1615～1867年）には萬歳院支配の龍王権現がまつた。その後は共有地となり、大権現は三日目様、弁天様、地藏様、大師様、稲荷様、十九夜様がある。



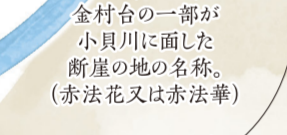
龍王大権現
江戸時代（1615～1867年）には萬歳院支配の龍王権現がまつた。その後は共有地となり、大権現は三日目様、弁天様、地藏様、大師様、稲荷様、十九夜様がある。



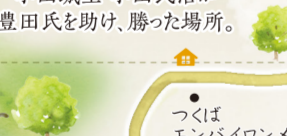
上郷高校跡
1927年（昭和2年）創立。1965年（昭和40年）上郷高、1992年（平成4年）上郷高、2011年（平成23年）閉校。



上郷小
1875年（明治8年）創立。茨城県下一広い校庭。上郷保育園、上郷幼稚園。



金村別雷神社
931年（承平元年）桓武平氏の一族である豊田公が、霊夢に感応して、京都上賀茂の別雷神社の御分霊を守護神としてこの地に奉斎したと伝えられている。関東三雷神の一社とされ、茨城百景の一つにも選ばれている。家内安全、無病息災、子授けの他、降雨の神様として親しまれている。



竹垣三右衛門
1793年（寛政5年）～1814年（文化11年）の22年間、豊里地方の天領を支配した有名な代官。関東支配地（安房・上総・下総・下野他）を内内と真岡の2か所を中心とした。農村復興策（子開引きの禁止・産児奨励金制度）その他多数の善政に報いるための碑。真岡市にもある。碑文は亀田勝音が撰じた。



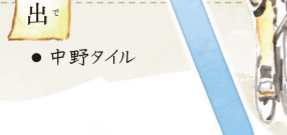
10-A 竹垣代官 徳政碑
1793年（寛政5年）～1814年（文化11年）の22年間、豊里地方の天領を支配した有名な代官。関東支配地（安房・上総・下総・下野他）を内内と真岡の2か所を中心とした。農村復興策（子開引きの禁止・産児奨励金制度）その他多数の善政に報いるための碑。真岡市にもある。碑文は亀田勝音が撰じた。



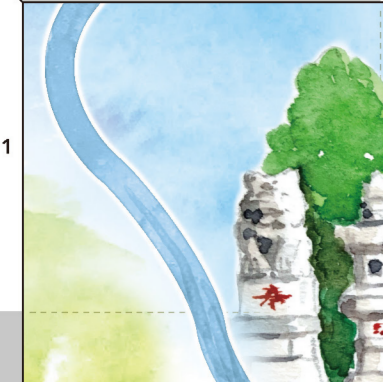
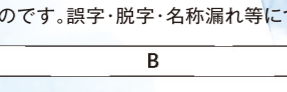
10-A 金村別雷神社
931年（承平元年）桓武平氏の一族である豊田公が、霊夢に感応して、京都上賀茂の別雷神社の御分霊を守護神としてこの地に奉斎したと伝えられている。関東三雷神の一社とされ、茨城百景の一つにも選ばれている。家内安全、無病息災、子授けの他、降雨の神様として親しまれている。



6-B 川口公園
小貝川のかつての河道と氾濫原を利用してつくられた水辺公園（5ヘクタール）。桜の名所としても知られ、かんで美しい花を咲かせる「ホシザキユキシタ」も見ることが出来る。



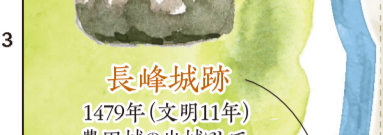
筑波山地域ジオパーク 上郷ジオサイト
上郷地区は、小貝川の蛇行河川地形、自然堤防や氾濫原といった地形とその堆積物を観察することができる。また、自然堤防を利用した雷神集落や金村別雷神社、氾濫原の低湿地を利用した田んぼなどが広がり、川沿いにはかつて小貝川水運に利用されていたことを伝える河岸跡なども残されている。旧河道跡地につくられた川口公園では、シオカラトンボやトウキョクダマガエルなどが生息する湿地・里山生態系を楽しめる。（ホームページ「筑波山地域ジオパーク」より引用）



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



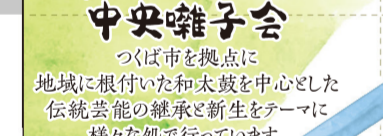
長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



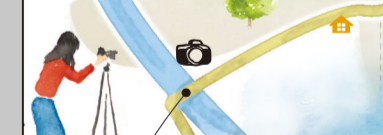
長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



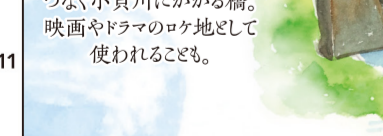
長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



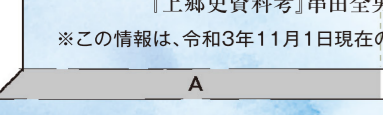
長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



長峰城跡
1479年（文明11年）豊田城の出城として、豊田四郎将軍平治元の叔父、長峰右近将監正次の築城。1573年（天正元年）金村台合戦で廃城。



企画・発行 令和元年12月1日初版／令和3年11月1日発行
編集・制作 上郷市街地活性化協議会・つくば市周辺市街地振興課・ケースグラフィック
参考文献 『豊里の歴史』（町村合併30周年）／『豊里町史』沢田進著
『上郷史料考』中田全男著／『郷土史雑記』中田全男著
※この情報は、令和3年11月1日現在のものです。誤字・脱字・名称漏れ等につきましては、ご容赦ください。